

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	<p>※ 委員発言が行われた部分のみ記述する。</p>
大杉会長	<p>「平成30年度地域包括支援センター事業計画等について」を議題とする。事務局から説明をお願いする。</p>
下村主幹	<p>事前送付 平成30年度 各地域包括支援センター事業計画書 資料 1 平成30年度 入間市地域包括支援センター運営方針 資料 1-2 平成30年度地域包括支援センター設置概要について を用いて説明。</p>
大杉会長	<p>事務局から説明があった。各委員のご意見をいただきたい。</p>
春名委員	<p>資料1のP6の生活支援体制整備業務の項目にある「担い手の養成」について、市はどのようなビジョンを持っているか。また、支え合い組織を増やしていく予定はあるのか。</p>
下村主幹	<p>「ささえあい東藤沢」のような地域の支え合い組織も、その他のボランティア組織と同様増やしていきたい考えである。担い手の養成については、各地域の実状に応じて、生活支援コーディネーター、地域福祉コーディネーター等と共同、調整して進めていく予定である。</p>
春名委員	<p>生活支援体制整備事業の説明会等に参加している市民は、民生委員である場合が多い。民生委員以外の担い手の発掘、養成についてもイメージしていただきたい。</p>
下村主幹	<p>市で行っている「ボランティア養成講座」ではボランティア組織の担い手に講師をお願いしている。生活支援コーディネーターを中心に、民生委員に限らず様々な市民の協力のもと、生活支援体制整備事業を進めていきたい。</p>

発 言 者	発 言 内 容
鈴木委員	<p>現状、ボランティア活動を行っている人はいくつも掛け持ちをしている、高い意識を持った人が多い。現在活動的なボランティアが高齢化して、第一線から退くときに備えて、市は新たな担い手の養成に力を注ぐべきだと考える。</p>
町田課長	<p>確かに、ボランティア講座を開催しても参加してくださるのはその活動に興味がある人になってしまう。どのようにして興味がない人にも参加してもらうか、そこが重要であると考えます。また、ボランティア活動を行うことが介護予防になるので、閉じこもりの方にボランティア活動を行ってもらおうよう結び付ける方法も検討していきたい。</p>
川名委員	<p>市民の立場からこれらの問題についてお願いしたいことは、担当課だけでなく関係各課も含めて事業を推進していただきたいということである。担い手不足の問題も、人材を抱えた他課と共同すれば解決するかもしれない。担当課のみで抱え込まず、横のつながりを庁内で広げることができればよいと考える。</p>
臼井副会長	<p>当然であるが、ボランティア活動を行っていない人にはその人の生活がある。実際私はボランティア活動を行っているが、なかなか協力を得られない。また、行政の考え方と現場の考え方には差があり、かみ合わないこともあると思う。壁にぶつかりながら、手探りでもよりよい方法を探していくことが必要だと思う。</p>
大杉会長	<p>次に「地域密着型サービスの整備について」を議題とする。事務局から説明をお願いします。</p>
岩田主幹	<p>資料 2 地域密着型サービスの整備について を用いて説明。</p>
大杉会長	<p>岩田主幹から説明のあった計画で進めていくということでよろしい</p>

発 言 者	発 言 内 容
各委員	か。 了承
大杉会長	次に「地域密着型サービスの指定等について」を議題とする。事務局から説明をお願いする。
粕谷主幹	資料 3 地域密着型サービスの整備状況 を用いて説明。
大杉会長	事務局より説明があった。
大杉会長	①地域密着型通所介護ではいくつかの事業所は廃止になるということだが、利用者数が少ないのか。②小規模多機能型居宅介護の利用状況はどうだろうか。
粕谷主幹	①については、利用状況は事業所ごとに異なっている。②については、登録定員はほぼ満たしていると聞いている。実状について、もし可能であれば高野委員に状況をお伺いしたい。
高野委員	「杜の家あい」の小規模多機能型居宅介護では5人欠員がある。入れ替わりが激しく常に変動している。新たに入所される方は施設並みのサービスを期待している方が多い傾向がある。また、次の施設を探すまでの中継として入所する方もいる。
水上委員	①地域密着型通所介護に関して、午前午後に分かれている場合、表にある利用定員とは一日の事業利用可能者の合計人数か。②関わっているデイサービスでは空き人数が多く経営が厳しいと聞いているが、入間市全体の傾向も同様なのか。
粕谷主幹	①については、一日の合計ではなく、午前午後、それぞれ同時にサー

発 言 者	発 言 内 容
	<p>ビスを受けられる定員数である。②については、施設の整備が充実するとデイサービスの利用は減少する傾向があり、経営の関係上廃止される事業所もあるように聞いている。</p>
臼井副会長	<p>運営母体について、事業所単体で行っている所はあるのか。</p>
粕谷主幹	<p>1つの法人が複数事業所を運営している場合や、事業所開設に向け新たに会社を立ち上げる場合等さまざまであるが、事業所名と運営会社名は異なることが多い。</p>
松本委員	<p>認知症対応型共同生活介護施設について、市は増設を考えているようだが、現在空室もあると伺っている。市はどの段階まで拡充させるつもりなのか。</p>
町田課長	<p>先日の調査では、入所者状況は1か所を除き全て満床という結果であった。高齢化が進む中で、介護保険制度7期中に1か所増設し、最終的には全生活圏域に配置したいと考えているが、今後協議を重ねていく。</p>
大杉会長	<p>次に「条例改正について」を議題とする。事務局から説明をお願いする。</p>
下村主幹 粕谷主幹	<p>資料 4 「入間市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例」改正の要旨他を用いて説明。</p>
大杉会長	<p>介護保険制度も変動していく中で、市の条例もそれに対応した内容に変化させる必要がある。当運営協議会に関する条例も改正されているので、各委員確認していただきたい。</p>
各委員	<p>了承</p>

発 言 者	発 言 内 容
大杉会長	次に「その他」議題とする。事務局から説明をお願いする。
事務局	3月末で運営協議会委員の任期を迎えること、翌年度委員の選任について説明する。また、3年間委員を務められた皆様より、運営協議会について感想を伺った。
大杉会長	以上で本日の議題を終了する。

議事のとん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

年 月 日

議 長 の 署 名 _____